



Kenji Usui Ballet Collection

薄井憲二バレエ・コレクション
“コメディア・イリュストレ”誌
～アートを発信したパリの雑誌～

vol.5

2007/4/14 (Wed.)～2007/6/3 (Sun.)

コメディア・イリュストレ誌 / Comœdia Illustré (雑誌)

雑誌『コメディア・イリュストレ』は1909年にフランスで創刊された、アート、ファッションを中心とした雑誌である。バレエ・リュスの初年度1909年の公演では表紙を含め特集号とし、公式プログラムは作られなかったためその役割も果たした。

1910年からはバレエ・リュスの公式プログラムを作る事になり、1929年までパリの公式プログラムはすべてコメディア・イリュストレ誌が手がけた。

大判で美しい印刷とデザインは今なおコレクターの心をつかみ続けている。プログラムも『コメディア・イリュストレ』誌編集長、モーリス・ド・ブリュノフが手がけ、後に息子のジャックに引き継がれた。このブリュノフ一家は当時のパリの雑誌界の大立者と言え、『ヴォーグ』『ガゼット・ド・ボン・トーン』『ジャルダン・デ・モード』といった重要なフランスファッション誌の創刊も一族の手によることは案外見落とされがちである。

薄井憲二バレエ・コレクション
“コメディア・イリュストレ”誌
～アートを発信したパリの雑誌～

vol.5

2007/4/14 (Wed.)～2007/6/3 (Sun.)

出展リスト (作品・資料名/分類/年代/ほか)

◆【コメディア・イリュストレ】

(雑誌 [MG 1028] / 1909年5月15日 / 1巻10号 / 表紙: バクストによる)
“Comœdia Illustré” 1909.5.15.No1-Vol.10, Saison Russe 1909,
Opéra et Ballet, Cover: Design for “Oiseau d’or” by Leon Bakst (MG 1028)

◆【コメディア・イリュストレ】<表紙写真>

(雑誌 [MG 1031] / 1912年7月1日 / 4巻17号
表紙: 『タマル』を踊るカルサヴィナの写真)
“Comœdia Illustré” 1912.7.1.No4-Vol.17,
Cover: Tamar Karsavina et Mr. Bolm dans “Thamar” (MG 1031)

◆【コメディア・イリュストレ】

(雑誌 [MG 1207] / 1911年7月1日 / 3巻17号
表紙: バクストによる『ナルシス』)
“Comœdia Illustré” 1911.7.1.No.3- Vol.17,
Cover: Costume design for “Narciss”(Bacchanale) by Leon Bakst(MG 1207)

◆【コメディア・イリュストレ】

(雑誌 [MG 1021] / 1920年11月30日 / 8巻2号 / ジャン・ボルラン)
“Comœdia Illustré” 1920.11.30.No.8 Vol.2, Cover: M. Jean Börlin(MG 1021)

次回予告

薄井憲二バレエ・コレクション Vol.6

世紀末に咲いた仇花～イダ・ルビンシュテイン

今回は世紀末に咲いた仇花～イダ・ルビンシュテインをお届けいたします。
バレエ・リュスでデビューし、ブルースト、ダヌンツィオら錚々たるファンを魅了した新時代の女性パフォーマーの魅力をプログラム、写真デッサンなどでご紹介いたします。

(期間: 2007/6/5～2007/7/29 於: 2階メインエントランス)

◎企画・監修 芳賀直子 (はがなおこ 薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター)